

11 公共施設マネジメント推進プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市の公共施設は、老朽化が進んでおり、人口の減少や少子化・高齢化の進行など、公共施設を取り巻く状況が変化し、求められる役割も多様化していることから、将来を見据えた公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。

また、厳しい財政状況の下、これからの公共施設をどのように維持・更新していくについては、施設のさらなる有効活用や将来を見据えた適正配置など、無駄をなくす取組みも必要です。

そこで、このプロジェクトでは、市民が安心して快適に公共施設を利用できるよう、さまざまな環境の変化に適応した公共施設へ見直しを図るとともに、次の世代にできるだけ負担をかけずに継承できる持続可能な公共施設へと転換する「公共施設マネジメント」を推進し、子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまちの実現をめざします。

目的 (ゴール)	何を(対象)	どういう状態にしたいのか(意図)
これまでの成果	公共施設マネジメントの実施計画となる地区別計画	策定が完了している。
これまでの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設が抱える問題の把握・分析のために「長崎市公共施設白書」の作成 ●白書で整理した課題解決の方針として「長崎市公共施設マネジメント基本計画」の策定 ●行政サービス分野ごとに将来のあり方を示す「長崎市公共施設の用途別適正化方針」の策定 ●施設の安全性・機能性を維持し、長寿命化を図る「長崎市公共施設保全計画」の策定 ●施設やインフラ施設の総合的な管理のための方針となる「長崎市公共施設等総合管理計画」の策定 ●保全計画のもと、自主点検を実施するために、「施設整備チェックシート」を作成、予算において大きな基礎資料となっている。 	

平成29年度の実行方針・主な取組み

取組方針

公共施設マネジメントの地区別計画の策定を進め、実効性のある公共施設マネジメントを推進します。

主な取組み

- 地区ごとに施設の再配置や複合化などの考え方を示す「地区別計画」の策定を順次進めていきます。
- 地域の住民の皆さんと対話形式で地域の公共施設の再構築について考え、公共施設マネジメントの理解促進を図ります。

関連事業	公共施設マネジメント推進費	6,198 千円
------	---------------	----------